

M&Aにおける 法務デューデリジェンスの意義と実務

～中小企業のM&Aにおける法務監査の重要性とポイント～

平成29年 **10月20日** **金**



会場 TAP高田馬場

時間 13:30-16:30 (受付開始13:00)

(JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅戸山口より徒歩約3分)

受講料 25,000円(資料代・税込み)

定員**60名**様限定

各会員**割引**あり

講師紹介



鄭 一志 氏 和田倉門法律事務所
弁護士

〈プロフィール〉

早稲田大学法学部、早稲田大学大学院法務研究科卒。

2009年鳥飼総合法律事務所入所。

2016年より和田倉門法律事務所に参加。

国内中小企業、上場企業を中心にM&A、事業承継、税務訴訟を含む訴訟案件等、多数の企業法務案件を手掛ける。

〈主な著書〉

「非公開会社のためのやさしい会社法」(商事法務)など

ごあんない

現在、国内中小企業間のM&A取引が活発に行われており、事業承継の場面なども含め、今後も増加するものと思われます。しかし、上場企業・大企業の関わるM&Aでは必須の法務デューデリジェンス(法務監査)は、中小企業間のM&Aでは必ずしも実施されているわけではありません。そのため、回避できたリスクに見舞われトラブルとなるケースも散見されます。本講座では、「M&Aにおける法務デューデリジェンスとは何か」というイロハから実務での実践的ノウハウまで、法務デューデリジェンスについて幅広くかつ分かりやすく解説いたします。

講座内容

- 1 M&A案件における法務デューデリジェンスの意義と位置付け
- 2 中小企業のM&Aと法務デューデリジェンスの重要性
- 3 法務デューデリジェンスの実務
- 4 中小企業の法務デューデリジェンスでの重要なチェックポイント

セミナー詳細・お申込は、ホームページからでもご利用可能です。➡

TAP実務セミナー

検索

各会員割引

※1 無 料 : 東京定額制クラブ会員、TAP実務セミナー利用券使用、TAPチケット10使用

※2 30% off : 大阪定額制クラブ会員

※3 20% off : TAP実務家クラブ会員、相続アドバイザー協議会認定会員

